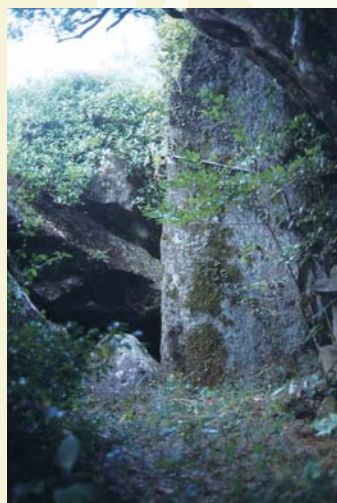


このコーナーでは、この地域に伝わる民話を紹介し、皆さんからの感想画を募集しています。

紹介する民話は、子どもたちに、ふるさとの伝説や昔話を教え、少しでも遠い祖先の心や、郷里の土地のぬくもりを感じてほしいと、松浦市教育委員会が平成4年に再編した「松浦の民話」という本から引用した話です。

松浦の民話③

鬼の岩屋



▲鬼の岩屋（調川町）

むかしむかし、石盛山のふもとに、彦四郎という人が住んでいました。ある日のこと、彦四郎のところへ、壱岐から鬼がやって来て、「彦四郎どん。石盛山に、おれたちのすみかの岩屋ば作らせてくれ。」と頼みました。彦四郎は困りました。（鬼に住みつかれたら大変だし、かといって断ったら暴れるかもしれん。）しかし、鬼は毎日やって来て返事をせまります。困り果てた彦四郎は、「よか。そんなら、明日の朝、一番どりが鳴くまでに岩屋ば作り上げきるならよかですたい。」と答えました。もちろん、（いくら鬼でも、そぎゃんことは、とうていできるわけはなか。）

と、思ったからです。

ところが、彦四郎からゆるしをもらった鬼は、仲間といっしょに、おやの滝の岩をかつぎ出し、石盛山の頂上に運び上げていきます。みるみるうちに、岩が積み上げられていきました。

「ありゃあ、どぎゃんしゅう。こんままじゃったら、今夜のうちに岩屋のでき上がってしまう。」彦四郎は、またまた困り、頭をかかえて一生けん命考えました。

「そうじゃ、こぎゃんすればよか。」彦四郎は、はたと手を打ち、とり小屋に入り、一わのおんどりをつかまえると、自分の着物のふところに入れてあたたため始めました。

すると、おんどりは、もう朝だとかんちがいてバタバタとはばたくと、一声高く、「コケッコッコー。」と鳴きました。

これを聞いた鬼たちは、「わあー。大変じゃ。もう朝になってしまった。約束ば守りきれんやつた。はずかしか、はずかしか。」とあわてふためいて、一目散に壱岐に向かつて逃げ出しました。

あまり急いで逃げたので、一匹の鬼は、大きな岩をかかえたままでした。今福沖の飛島まで逃げたとき、それに気がつき、その岩を投げすてました。

それが飛島のそばにある、二つの小さな島だといわれています。

そして、石盛山の頂上には、「鬼の岩屋」と呼ばれる大きな岩々があり、ふもとから頂上にかけて岩がたくさんあるのは、運ぶ途中だった岩ださうです。

また、石盛山と鷹島には、大まかぎで逃げた鬼の「ふんばげ」と呼ばれる足跡が残っています。

鬼をうまくだました彦四郎のお墓は、今でも「おてやの滝」の近くにあるということです。（調川町）

■あなたの力作を募集!

—民話の感想画募集—

この民話を読んで感じた情景をイラストにして、必要事項を記入の上、左記まで持参、郵送またはメールにて送付してください。

応募いただいたイラストは審査をし、上位のものを次の市報で紹介しします。

【応募資格】

住所、年齢、性別など何も問いません。どなたでも応募できます。

【イラストの規格】

はがきまたはA4サイズ以内の白紙に絵の具やクレパスなどで書いたカラーのもの（色鉛筆の場合は濃く塗ってください）。

【必要事項】住所、氏名（ふりがな）、電話番号、年齢、職業（学校名）

※掲載する場合、ペンネームを希望する人は、ペンネームもご記入ください。

※はがきで応募される人は、必要事項を表の下部に記載してください。

※なお、いただいた個人情報（民話コーナー以外には使用しません）

【応募締切】6月15日（火）必着

【応募・問合せ先】

〒859-4598

松浦市志佐町里免365番地

松浦市まちづくり推進課秘書広報係

☎0956-72-1111

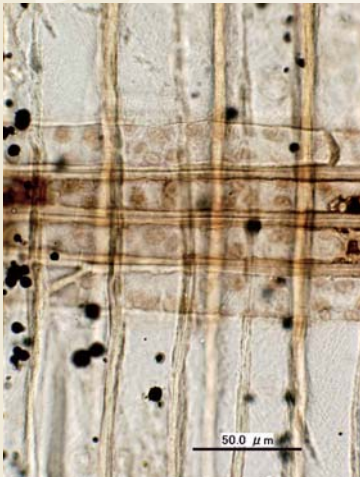
Eメール=hsyoc@city.matsura.lg.jp

※福島支所、鷹島支所、そのほかの各支所でも受け付けています。

中世の松浦 (19) 鷹島海底遺跡

昭和58年の鷹島海底遺跡の調査以来、これまでに出土した遺物は約3千点あり、そのうち木製品は約600点あります。この木製品を京都大学や奈良文化財研究所の専門家に依頼して、樹種同定を行ってもらいました。樹木は種(あるいは属・科)ごとに特徴的な細胞組織を持ち、木材解剖学的に種の識別をすることができます。このことから対象となる木製品の組織を観察し、標本と比較することにより、種を同定することが可能になります。

その結果、日本や韓国には分布せず、中国の特産種であり中国のみ分布が見られるコウヨウザンが多く検出されたこと、日本には分布せず、中国および南方の国(マレーシア・インドネシアなどに分布が見られる木材(7種)があること、中国には分布せず南方の国に分布するチークが検出されたことも分かってきました。また、中国・韓国・日本に分布が見られるマツ属複雑管束亜属・クスノキ・ニレ属・マツ属単管束亜属があり、クスノキは韓半島には分布しないが済州島・中国・日本に見られるので、これらの検出結果から産地を特定することはできません。しかし、コウヨウザンや東南アジア諸国に分布する種類が船の部材として用いられていたことは、やはり元軍の船は中国で造船されたことの可能性を示すものと思われる。



▶ 木材(コウヨウザン)の顕微鏡写真

松浦の民話イラスト

読者の皆さんから寄せられたイラストの審査結果を以下の通りお知らせします。

先月の民話「人間には、歯が立たん」のイラストに、4通の応募がありました。ご応募ありがとうございました。



【最優秀賞】

Y. Nくん (平戸市、10)

「5月の節句のにぎやかな様子がよく分かります。節句の仲間に入った河太郎がうれしそうですね。たくさん色を使って、丁寧に描かれていますね」(はま)



【優秀賞】

さとちゃん (長崎市、11)

「空の鮮やかな青に河太郎の姿がよく映えています。コイを捕って得意そうな河太郎の表情がかわいいですね」(はま)



【優秀賞】

ふみとくん (長崎市、7)

「人間から早く逃げようと、堤に飛び込む河太郎の姿が上手に描かれていますね」(はま)



【優秀賞】

ゆうきくん (長崎市、9)

「涙を流して逃げる河太郎。人間がとても怖いと思った河太郎の気持ちが伝わってくる作品です」(はま)